

# 評議員の外の目

ミッションを達成するために活動するNPO。思いが強いあまり、「気づけば誰もいなかった」…なんてことにならないために…。

## 成否は「情報収集」と「分析」

NPO法人北播磨市民活動支援センター（以下、アルシエ）は内規に評議員選任規定を設けており、この度、新たな評議員6名が選任された。さて、評議員の役割とは何か。ずばり理事長の職務を適確に実施させるために意見を述べることである。理事長も時に迷う。その瞬間、魔が差すことがあるかもしれない。そのとき「意見を述べる」のである。NPOには「経営」が必要であると書いた。経営とは「正しいことを上手にすること」であるが、厄介なことにそもそも「正しいこと」を見極めることが難しく、昨日「正しかったこと」が明日も「正しい」とは限らないし、昨日「上手く

## NPOに必要な評議員の外の目

しかし、一般的にNPOの内部関係者は近視眼的で、世の中全体が見えていないことが多く、情報を都合の良いように勝手に判断しがちである。ここに評議員の「外の目」が必要となる。ところで、評議員は普段、アルシエには近づかない方がいい。傍にいと情が移るので「外の目」が機能しなくなる。かといって全くの無関心でいて貰っても困る。「つかず離れず」の距離感を持ってNPOの活動を外から眺めていてほしいのである。

## 条件は、自己抑制が効いていない

私はこの世の中において「自己抑制を効かすこと」ほど「おしゃれな生き方」は他にないと思っている。今や日本は失われた15年目に突入り、アメリカは100年に一度の引き金を引いてしまい、世界中どこにも自己抑制のかけらも見当たらないが、社会から本当に必要なとされ存在価値を認められる人や組織の最低条件は、実は「自己抑制が効いていること」であるべきだと私は以前から信じている。



人や組織に自己抑制が効いていないと、思考や行動が大きく振れ、いから、安心感があり、場を乱さない。従って多くの人々と長いスパンで協働できる。マネジメントとは「人をして物事を成さしむ術」であるが、人との協働が無ければマネジメントもあり得ないし、経営も成り立たない。どうかアルシエが自己抑制を効かせ、未永く存在価値を発揮し続けてほしいと願うばかりである。



## Mr. Dee (ミスターディー)

職業柄、NPOの経営や会計に詳しくなっちゃった男。曲ったことは許さない！他人にも自分にも厳しい、かなりの勉強家。今回の連載では、「外の目」で

## 「仕事もボランティアも・・・」

映画「おくりびと」のおかげで市民権を得た『納棺師』という職業。私の職場の葬儀会館に、心をこめた温かい納棺をされるベテランの納棺師Sさんがいらっしゃいます。それは、数々の納棺を観てこられた年配のご親族が「こんなに心ある納棺を初めてみました」と驚かれるほどです。

教えられることが多く、私が慣れない葬儀の司会に悩んでいた時には、「亡くなった方のことを第一に考えていたら間違いないよ。やさしい司会者さんと言われてよかったね。上手な司会者とはめられるより大切なことだよ。」と励ましてくれました。

先日「ひとつとして、同じ葬儀はない。だからやめられない」と口癖のように言っているSさんに、私た

今回の執筆者は

人形劇団おやゆび姫  
代表 前田 友子さん

ちの人形劇団の話をする。「18年も人形劇をやっている飽きないの？」と訊かれました。「だって、毎回お客さんの反応も私たちの演技も違うから。おもしろくてやめられません。」と答えてから、「いっしょですね」と互いにニコリ。

最近思うのは、仕事だから・・・、ボランティアだから・・・という言い方の中には言い訳のようなマイナスの気持ちがあるということ。仕事だから仕方ないとか、ボランティアだから責任がないと言わずに、ボランティアのように仕事をして、仕事のようにボランティアをしてみると俄然どちらもおもしろくなるような気がします。『一期一会』の出会いや縁があることに感謝しつつ。合掌。

## 「ム」ちゃんのつづき

### 「手段と目的」

（2009年5月24日のブログ  
「アルシエ誌」より）

『「手段」を「目的」のように思い違いをしていないか...。何のために、誰のために、この事業をおこなうのか。』

常に、理事長がアルシエ会員のみなさんや職員に対しておっしゃる言葉です。アルシエも様々な活動をする中で、気がつかぬうちに「イベント」を開催する事が、目的となっていないか。何のために、誰のためにこの事業を行うのかという「想い」を共有するためにも、理事会で上程される資料には、「事業計画書」と「収支予算書」を求めます。「事業計画書」と聞くと、「難しい！」と腰が引けてしまいうえですが、その計画書を作成していく中で、自分の「想い」も整理され、独りよがりな事業になる危険性を回避できます。また、賛同してくれる仲間を増やす事が出来、行政や企業の理解も深まり助成金や補助金などを獲得できるチャンスも生まれます。

アルシエは、市民活動を支援するに誕生した団体ですが、NPO相談室に頼られる団体の中で、時々困ったことばかりです。自分たちで作成しなければならぬ書類や会計処理がわからなくなると、触れもなく飛びこんで来られたり、話がかかり「すぐやって！」と言われること。中には、「今日が、提出日のよー！」と半泣きで...。お気の毒と思ひ、何とかお力にならんと努力はしますが、私たちも聞いてとたんに、その団体の一年間を把握できるようなスーパーウーマンではなりません。

全部仕上げてもらって、「ハイおーい！やれやれ〜」じゃなくて、最初は一緒にやりながら覚え、身につけていただき、スキルアップしていただくことで、そのノウハウが蓄積され、自立した市民団体になっていただく事が、私たちの支援の目的です。とはいえ、まだまだ勉強不足で、なさまのニーズに十分お応え出来な私たち。

みなさんのご相談を共に解決するで、学ばせていただく事がたくさんあります。これからも同じ目的に向って一緒に頑張りさせていただきます！よろしくお願ひします。

事務局長 向山 良子